

# よっかいち 市議会 だより

6月定例会議会号



総務常任委員会



教育民生常任委員会



市民の皆さんの  
身近な課題を



産業生活常任委員会



都市・環境常任委員会



四つの委員会で  
深く議論



特集

もっと議会の活動を伝えたい!!

～市議会の情報発信～

→P.2～3



市議会HP  
情報発信中!



# 市議会の情報発信 もっと議会の活動を伝えたい!!

「よっかいち市議会だより」のほかにも、市議会ではさまざまな方法で議会の様子や活動の情報を発信しています。  
スマートフォンやタブレット、パソコンからも簡単に議会の情報をご覧いただくことができます。まずは一度チェックしてみてください!



## SNSでいち早く議会の情報を受け取れます!



SNSでは、議会の日程や議会の行事、市民意見の募集など、さまざまな情報をいち早くお届けしています。ぜひ登録をお願いします!!

### 四日市市議会 公式SNS

<p>Facebook</p>	<p>Twitter</p>
<p>Instagram</p>	<p>LINE</p>

## スマートフォンやタブレットで「よっかいち市議会だより」を読めます!

広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」でご覧いただけます。下のQRコードからアプリをダウンロードして、「よっかいち市議会だより」を登録してね!

**マチイロ**

App Store からダウンロード

Google Play でお申し込み



## ケーブルテレビで代表質問・一般質問の様子が見られます!

テレビ中継(CTV)を見るには

- ① 数字ボタンの「12」を押してから、
- ② チャンネル(選局)ボタンの上方向「^」を1回押してください。

または

- ③ 番組表のボタンを押して、テレビに番組表を表示し、四日市市議会中継(デジタル122ch)を選択してください。

## インターネットで議会の議論の様子を視聴できます!

本会議と各委員会のライブ中継と録画配信は市議会ホームページのトップページ「インターネット議会中継」から!

さらに詳しい情報は市議会ホームページで!

- 会議の資料  
本会議・常任委員会の資料はコチラ
- 議案に対する意見募集  
年4回の定例会議会ごとに募集。いただいたご意見は全議員で共有

情報公開  
会議録や各種の報告書等を公開

更新情報

議員の紹介

議会日程

議長・副議長

議員・議会の紹介

本会議・委員会

情報公開

広報・広聴

議会改革

議会の活動

お知らせ





## 委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

#### 防災教育センターはリニューアルでどんな施設になるの？

##### ◆契約の締結

－防災教育センターリニューアル事業製作業務委託－

**問** 災害体験ゾーンに設置する地震VR体験について、一度に対応できる人数は最大で何人か。

**答** VR体験のヘッドマウントディスプレイの台数により、一度に最大15人、1日では最大200人を想定している。

**問** 休館日と人員体制について確認したい。

**答** 他の公共施設と同じく月曜日を休館日としている。人員体制は検討中だが、大人数の見学により人員が不足する場合は、北消防署員と協力して対応する。



**答** 令和4年度の空調設備等更新時に5カ月間休館していた時と同様に、資料整理や対外的な活動等を行っていく予定である。前回の休館時には市民から多くの資料の提供があり、今回も資料に関する問い合わせに対応する業務は増えると想定している。

### 都市・環境常任委員会

#### ごみ収集車の買い替え・修理は？

##### ◆動産の取得 ー小型一般ごみ収集車 10台ー

**問** 廃車にするごみ収集車を売却した際の収益について確認したい。

**答** 調達契約課で処分の手続きを行い、売却して発生した収益は市の歳入になる。

**問** ごみ収集車の保有台数について市の考え方を確認したい。

**答** 現在、予備車を含め49台のごみ収集車を保有しているが、部品不足による修理期間の長期化に対応するため、予備車を増やすことも検討している。

**意見** 部品取り用の車両を保有するなど、迅速に車両を修理できるよう柔軟に検討してほしい。



### 教育民生常任委員会

#### 博物館休館中の市の業務は？

##### ◆工事請負契約の締結

－博物館受変電及び発電機設備更新工事－

**問** 工事中は、博物館、四日市公害と環境未来館のすべての施設が休館になるのか。

**答** 電気設備の更新により開館できないため、すべての施設を休館としたい。職員が業務を行う場所も極力減らし、最低限の電力で対応する。

**問** 休館期間中、職員はどのような業務を行うのか。

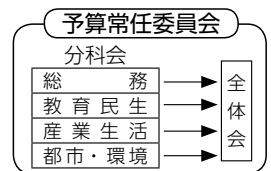


### 産業生活常任委員会

◆印鑑条例の一部改正については、別段質疑および意見はありませんでした。

## 予算常任委員会

予算の審査は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



### 予算常任委員会分科会

#### 総務分科会

安心してマイナンバーカードの手続きができる体制は整っているか？

##### ◆行政手続オンライン化事業費

**問** マイナンバーカードについて、全国でさまざまなトラブルが発生しているが、本市で事例はあるか。また、トラブルの原因には人員不足もあるが、今回の補正予算で十分な体制づくりができるのか。

**答** 本市で問題は発生していない。また、申請が急増した時期は人員を増やすなど、正確な事務と待ち時間の削減に努めており、現在の体制を継続する。

**意見** 関係部局が連携して、窓口へ相談に行けない高齢者へのマイナンバーカードの健康保険証利用の手続きを支援してほしい。



#### 産業生活分科会

農産物の生産体制を強化するための補助内容は？

##### ◆産地生産基盤パワーアップ事業補助金、麦・大豆生産技術向上事業補助金

**問** 補助金を受けるために、成果の報告義務はあるのか。

**答** 麦の作付面積の拡大について、5年後の成果目標を求めており、毎年報告が必要である。

**問** ドローンによる農薬散布が補助金の対象とされているが詳細を確認したい。

**答** 新たにドローンによる農薬散布を行った場合に支援するものであり、ドローン導入というハード整備に対する補助金ではない。



#### 都市・環境分科会

中心市街地にふさわしい駐輪場の整備を

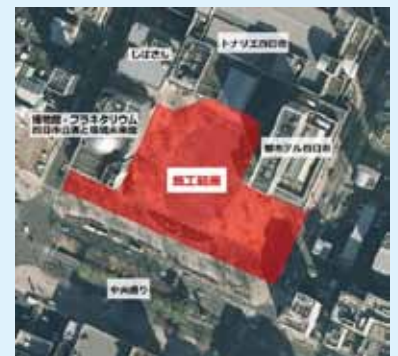
##### ◆中央通り再編整備費（市民公園）

**問** 博物館の東側の市民公園に駐輪場を設置する計画だが、何台駐輪できるのか。

**答** 現地を確認した結果、余裕を見込んで50台分設置する予定である。

**問** 駐輪台数が50台では少ないと考える。また、雨でもぬれないようにするなど、予算をかけて中心市街地にふさわしい駐輪場にすべきではないか。

**答** 駐輪台数や駐輪場の構造は、自転車道整備等とあわせて決定していく中で、改めて検討したい。



#### 教育民生分科会

市民に便利なプッシュ方式による給付は？

##### ◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費・事務費

**問** 対象者が申請しなくても給付を受けられるプッシュ方式で今回の給付を行う自治体もある。家計への影響が大きい世帯への給付であることを考えると、本市もプッシュ方式で給付すべきではないか。

**答** 本市では対象者へ確認書を送付し、受領意思等を確認した上で給付をする予定である。過去に給付の実績がある対象者には、必要事項を確認し、署名するだけで意思を確認できるようにしたい。

**意見** 本市でもプッシュ方式による給付ができるはずである。市民の利便性向上に積極的に取り組み、迅速に給付してほしい。

### 予算常任委員会全体会

◆全体会において、各分科会からの報告を受け議論を行いました。委員から全体会審査すべきものとして追加提案された事項はなく、令和5年度一般会計補正予算（第3号）のほか、企業会計の補正予算について、いずれも別段異議はありませんでした。

## 一般質問した議員と項目（質問順）

伊世 利子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅介護支援センターの役割について ～もっと市民に身近な名称に変更してはどうか～</li> <li>・住民主体型サービスBの普及について ～旗振り役を育てましょう～</li> <li>・在宅療養を支える介護者支援について ～色々な角度から～</li> </ul>
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地における豪雨対策について</li> <li>・子供たちが危ない！住宅地内の道路を猛スピードで走る車をどうすれば減らせるのか？</li> </ul>
後藤 純子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育について ～事業を拡充すべきではないか～</li> <li>・子連れ出勤について</li> <li>・自転車利用時のヘルメット着用努力義務について ～ヘルメットの購入補助金の導入～</li> </ul>
加納 康樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チャットGPTと、どう向き合うのか」 ～個人情報などに留意しつつ、活用すべきではないか～</li> <li>・「東海・北陸B-1グランプリ in 四日市の成功のために」 ～来場者の公共交通機関利用を促すための具体策について～</li> <li>・「左折渋滞問題を解決しませんか？」 ～ニワミチよっかいち、は結構なのですが…～</li> </ul>
竹野 兼主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のための住みやすい街の交通施策について</li> <li>・これからの四日市市立保育園について</li> </ul>
山田 知美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の子ども食堂拡充について</li> </ul>
辻 裕登	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口流出防止に向けた取り組み</li> <li>・選挙投票率向上に向けた取り組み</li> <li>・今後の企業誘致方針について</li> </ul>
石川 善己	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観測史上最低から考える ～本市の災害対策</li> </ul>
早川 新平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策は地球に住む皆の問題 どうする四日市</li> <li>・防災訓練のあり方について</li> </ul>
平野 貴之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の安全を守れ</li> </ul>
今村 厚美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加に取り組む高齢者の健康支援について</li> <li>・地域包括支援センターにおけるリハビリテーション専門職の必置について</li> </ul>
水谷 一未	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な道路維持のために市民の声は反映されているかについて</li> <li>・5類変更後の新型コロナウイルス感染症の対応について</li> </ul>
田中 徹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型交通について</li> <li>・ふるさと納税について</li> </ul>
小林 博次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地再開発事業について</li> </ul>
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始まった中学校給食について</li> </ul>
村上 暁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の保護者負担について</li> <li>・子ども医療費助成について</li> </ul>
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書かない窓口」の推進について</li> <li>・郊外団地等の街路樹の管理について</li> </ul>
荒木 美幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多死社会の到来に向けて終活支援を急げ</li> </ul>
森 智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金を活用した人材の確保を</li> </ul>
上 麻理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市の農業の未来について</li> <li>・県道四日市鈴鹿線に交差する内部地区内の市道について</li> <li>・生活保護受給家庭の子供の自立</li> </ul>
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市の展望～交通ネットワークの実現に向けて</li> </ul>
伊藤 嗣也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通及び公共施設の既存ストック有効活用 ～近鉄湯の山線及び現図書館のリニューアル～</li> </ul>
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会計改革の現状について</li> <li>・新図書館と旧図書館の今後について</li> </ul>
森川 慎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の雇用について</li> </ul>
森 康哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道1号線の渋滞緩和と安全対策の向上について</li> <li>・近鉄霞ヶ浦駅西口設置について</li> <li>・四日市港管理組合の負担割合について</li> </ul>



## 一般質問から

一般質問は、定例会議が開かれたときに、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

6月定例会議は、25人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の8月定例会議ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

### 高齢者施策

## 在宅介護支援センターの今後の展望を問う



フューチャー四日市  
いせ りつ子

**議員** 在宅介護支援センターは介護で悩む市民が気軽に相談できる場所だが、高齢者を取り巻く環境は厳しく、相談内容は多岐にわたる。近年は、相談以外にも訪問支援や家族との面談の増加、介護施設やケアマネジャーとの連携業務のため多忙だと聞く。今年度から重層的支援体制整備事業（※）も始まり、さらに多様な業務を担う在宅介護支援センターの役割と今後の展望を確認したい。

**健康福祉部長** 在宅介護支援センターの役割は、各地区にある強みを生かし、高齢者やその家族にとって身近な地域の初期相談窓口として総合相談支援業務を担うことである。地域にとってより身近な機関になることや、複合的な

※ 地域住民の複雑化した生活課題に対応するため、「相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」等を包括的に実施する事業

課題を持つ世帯への対応力の向上が必要である。増加する高齢者へ柔軟に対応するため、さらなる機能の充実が必要と考える。

**議員** 市は、在宅介護支援センターに増加する業務を丸投げするのではなく、地区ごとの特色を踏まえた人員配置を考え、取り組み内容の検証や評価を行うなどして、在宅介護支援センターと連携すべきである。市民が親しみを持ちやすい愛称を付けたり、適地へ移転したりするなど、より身近な機関になるよう工夫するのも手段の一つである。在宅介護支援センターが多様化する地域のニーズに応じて適切な支援につなげ、地域が安心して利用できるよう在宅介護支援センターの充実を要望する。



### 高齢者施策

## 高齢者が安心して暮らすための施策の充実を



フューチャー四日市  
たけの かねき  
竹野 兼主

**議員** 本市は市街化調整区域に住む高齢者への公共交通施策としてデマンドタクシー制度を運用しているが、市街化区域に住む高齢者も、公共交通機関の減便や廃線により日常生活において深刻な影響を受けている。高齢者が安心して生活できる具体的な公共交通施策を実施すべきではないか。

**都市整備部長** 市街化区域は、市街化調整区域と比べて人口密度が高いことから、乗り合いでの利用が期待できる。予約に応じて運行する乗り合いサービスなどさまざまな方法を検討し、公共交通不便地域で実験的に導入することにより効率的な移動手段を探っていきたい。

**健康福祉部長** 移動に特別な配慮が必要な人には、公共交通機関での対応だけでなく、福祉的な移動支援も必要である。公共交通施策と福祉的な移動支援を組み合わせ、誰もが移動しやすい環境をつくることが重要と考える。

**議員** 高齢者が期待する施策と市の施策がかみ合っていない印象を受ける。市民が満足できる、

実態に即した公共交通施策を実施してほしい。また、住民主体サービス（※）では担い手不足が深刻だが、市はどのように対応するのか。

**健康福祉部長** 生活支援コーディネーターを配置して、地域福祉活動の担い手の発掘と育成を進めている。在宅介護支援センター等の関係機関と連携しながら、課題解決に向けて取り組んでいきたい。



デマンドタクシーを案内するチラシ。（令和5年度版）。利用方法などが紹介されている



※ 介護保険サービス事業所以外のNPO法人や住民団体が、要支援者や要介護度の低い人に提供するサービス

## 通学路

## 通学路の安全対策に子どもの意見を取り入れよ



フューチャー四日市  
おだ  
小田あけみ

**議員** 路面に何れも子ども注意の表示があるにもかかわらず、住宅地内の通学路を猛スピードで走る車に危険を感じ、子どもたちはガードレールの設置や通学時間帯の通行規制を大人に訴えている。地域全体の合意がなければ通行規制等の実施が困難なことは理解するが、子どもの安全を守るために大人としてできることはないのか。

**都市整備部建設担当部長** 時間帯通行禁止や速度規制などの交通規制が考えられるが、公安委員会からは、地域から交通規制に関する要望があれば、現地調査を行い検討するとの回答を得ている。公安委員会に交通規制の要望を提出する際は、市も地域と共に働き掛けていきたい。



**議員** 不便になることで交通規制に反対する人もおり、地域住民の意見をまとめるのは簡単ではない。子どもの安全確保のため、地域からだけでなく、学校から働き掛けられないか。

**教育長** 四日市市通学路交通安全プログラム（以下、プログラム）に基づき警察、道路管理者、教育委員会が連携し、通学路の危険箇所についてソフト面とハード面から対策を検討し、安全の確保に努めている。

**議員** 私たち大人が不便さを我慢することで、子どもの安全に責任が取れるということを意識すべきである。危険箇所を子どもと共にチェックし、プログラムの策定に子どもの意見を取り入れる仕組みづくりを求めたい。

## 働き方改革

## 市は率先して働き方改革に取り組み



フューチャー四日市  
ごとう  
後藤 純子

**議員** 働き方改革の推進とワーク・ライフ・バランスの充実のためには、職員が働きやすい職場でなくてはならない。愛知県豊明市では、仕事と子育てが両立できる柔軟な働き方の普及啓発と、子どもと子育て家庭に温かい地域づくりの機運を醸成するため、全国の自治体に先駆けて子連れ出勤制度を導入した。本市も市内企業の働き方改革が一層進むよう、率先して働き方改革を進めるべきである。そこで、本市が現在進めている働き方改革の取り組み状況と今後の方向性を確認したい。また、子連れ出勤制度を本市でも導入してはどうか。

**総務部長** 仕事と家庭を両立しながら働ける職場環境を実現するため、復帰後、再度育児休業



を取得できるよう制度を改めたほか、子の看護休暇の対象を拡大した。また、多様な働き方に柔軟に対応するため時差出勤制度を導入したのに加え、テレワークの導入に向けた実証実験を進めている。今後もワーク・ライフ・バランスを重視した、より働きやすい職場づくりを進める。子連れ出勤制度については、導入自治体では仕事と子育ての両立への理解が深まったとの声がある一方、業務に集中できないなどの課題もあったと聞いている。今後も先進事例を研究するとともに、他自治体の動向も注視していく。

**議員** 誰もが働きやすい職場になれば、行政サービスの向上にもつながる。積極的に働き方改革に取り組むことを期待する。

## デジタル化

## 業務効率化のためチャットGPTを活用せよ



フューチャー四日市  
かのう やすき  
加納 康樹

**議員** 生成AI（※）の一つであるチャットGPTは、膨大なデータを基に質問、指示の答えや文章を短時間で作り出せる。そのため、さまざまな問い合わせに対する回答や会議の議事録の作成等の自動化、効率化が期待されている。働きやすい職場づくりのため、桑名市ではチャットGPTを活用する実証実験を開始するなど、民間企業だけでなく地方自治体でも活用する動きが広がり始めている。チャットGPTの利用により個人情報や機密情報が流出する懸念はあるが、本市でも個人情報等の取り扱いに十分に留意しつつ、業務の効率化に向けて大いに活用していくべきではないか。

**総務部長** 生成AIが作成した回答には誤りや



差別、偏見が含まれる可能性があるため、誤った情報を拡散させる恐れがある。また、生成AIは入力された情報を学習して回答を作成するため、入力した情報が外部に漏えいする恐れもある。職員が生成AIを適切に利用できるよう、6月中に本市のガイドラインを策定する。ガイドラインには、個人情報や非公開情報を入力しないこと、回答の正確性を利用者の責任で十分確認すること、著作権に抵触しないよう出典の記載等の配慮を行うことなどのルールを明記する。今後、幅広く情報収集し、生成AIの有効活用について研究を進めていく。

**議員** 利用に当たり注意すべき点は慎重に検討しながら、ぜひ積極的に取り組んでほしい。

※ 利用者が文字や音声で入力すると、あらかじめ学習したデータを基に新しい文章、画像、動画などを作成する人工知能の総称



## 子ども

# 公民連携で子ども食堂の拡充を進めよ



新風創志会  
やまだ ともみ  
山田 知美



**議員** 子ども食堂（※）は、食事の提供のみならず、地域の大人とのつながりができる場で、家庭、学校以外の第三の居場所となりつつある。さらなる拡充を図るには資金面の支援が必要だが、補助金を活用したくても、補助要件が厳しいことや申請書の作成が困難なことが課題となっている。子ども食堂を増やすため、より活用しやすい補助制度にすべきと考えるがどうか。

**こども未来部長** 継続的に安心して利用できる子ども食堂となるよう、一定の補助要件を設定している。また、申請手続きの際には丁寧な説明に努めている。今年度から補助金額等を拡充しているが、現行の補助制度の成果や課題を分析し、より活用しやすい制度を研究したい。

※ 無料または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場

**議員** 子ども食堂の運営団体の生の声を聴くことで、公と民が互いの現状を共有し、今後の制度運営の改善にも生かすことができる。市主導で、子ども食堂実施団体間でネットワークを構築するため意見交換会を開催してはどうか。

**こども未来部長** 意見交換会を開催することで、担い手の発掘や育成、支援の質の向上につながると考える。また、支援が必要な子どもを適切な支援へつないでいく効果もあるため、運営している団体との開催を検討したい。

**議員** 各小学校区に子ども食堂があり、子どもが自分で行けるのが理想だが、まだまだ数が足りない。子ども食堂を始めやすい環境を整備し、公民連携でのさらなる拡充を求めたい。

## 人口

# 人口流出防止にスピード感を持って取り組み



新風創志会  
つじ ひろと  
辻 裕登



**議員** 本市は今年1月から4月の転出超過と自然減（※）を合わせると、1000人以上人口が減少している。この状況が続くと近い将来、市の人口は30万人を下回る可能性がある。転入を増やして転出を抑える施策を積極的に取り入れるため、迅速かつ的確に転出入の状況や理由を把握して対策すべきではないか。

**政策推進部長** 住民基本台帳システムから転出入者の性別や年齢を毎年把握している。また、昨年度末から県が転出入の理由を調査するアンケートを実施しているが、回答率は低調である。なお、速報値は毎月、1年間の最終的な結果は調査終了後に届くため、市で分析する予定である。今後は転出入のデータを月ごとに整理する

※ 死亡者数が出生者数を上回っている状態のこと

よう検討する。人口流出対策については県とも十分連携して、効果的な取り組みを検討する。

**議員** 県と協力してアンケートの回答率の向上に努めてほしい。また、県が調査を終了した場合は、本市が独自に調査することも検討してほしい。次に、将来を担う若者世代の確保はまちづくりを進める上で重要である。県や他市では若者にとって魅力的な施策として奨学金の返還支援制度を設けているが、本市でも前向きに検討してはどうか。

**政策推進部長** 奨学金返還支援制度について、県へ支援内容の拡充を要望するほか、奨学金返還支援制度を含めた若者の定住を促進する先進市の取り組みについて調査研究を行う。

## 環境

# 市の地球温暖化対策を問う



新風創志会  
はやかわ しんぺい  
早川 新平



**議員** 地球温暖化等による海洋環境の変化により、伊勢湾の水産資源にも変化が生じている。国はさまざまな地球温暖化対策を表明しているが、市の対応を確認したい。

**環境部長** 本市では温室効果ガス排出割合の70%以上を産業部門が占めていることから、この分野における脱炭素の取り組みは重要である。現在、温室効果ガスの削減を促進するため、地球温暖化対策実行計画の改定を進めており、引き続き、脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者と一体となり、地球温暖化対策に取り組む機運を醸成している。

**議員** 地球温暖化対策の重要性は理解しても、具体的な取り組み方が分からない市民は多い。

市は積極的な広報を行い、市民に協力してもらえよう取り組みをすることが大切である。また、本市の温室効果ガスの排出量は他市と比べて産業部門が突出して多く、企業の協力が不可欠だが、どのように取り組むのか。

**商工農水部長** 令和4年に設置した四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会を推進委員会へ移行し、六つの部会を設けて調査や実証などを行う。また、企業への支援制度や補助制度を創設しており、カーボンニュートラル社会に貢献する四日市コンビナートの構築に向けて取り組んでいく。

**議員** 国や県、企業との連携が重要である。しっかりと取り組みを進めてほしい。

## 災害対策

# 市内各所の状況を把握し対策の検討に活用せよ



新風創志会  
いしかわ よしき  
石川 善己

**議員** さまざまな災害に対しどこに重点を置いて対策を講じるかは、地域性もあり難しい課題である。今年1月26日に本市で観測史上最低気温マイナス8.9度を記録した時の大雪への対応状況と、今後の対策について確認したい。

**危機管理統括部長** 1月25日の大雪警報発令時に災害対策本部員会議を開催し、積雪や道路、ライフライン等の状況把握を行い、関係部局が連携して対応することとした。災害情報について今後はより積極的に発信していきたい。

**都市整備部建設担当部長** 融雪剤の散布や除雪作業を行ったが、地区により積雪量や路面の凍結状況が異なり、対応は困難であった。この経験を今後の業務に生かせるよう委託業者と意見交換を行い、適切な雪氷対策に取り組む。

**上下水道局管理部長** 上下水道局ホームページ等で注意喚起は行っていたが、凍結により宅内の給水管が破損し、漏水が発生した。今後、寒くなる前に分かりやすく対策を周知していく。

**議員** 市内の実際の積雪量は地区によって差が

あり、気象庁発表の数値と乖離<sup>かいり</sup>していたと感じる。リアルタイムで市内各所の状況を確認できるシステムが災害対策上必要と考えるがどうか。

**危機管理統括部長** 地区市民センター、消防署等への確認や国、県、CTYのライブカメラで状況を把握している。ライブカメラや本市独自の観測地点の設置は現地の状況を把握し対策を検討するのに有効であり、調査研究を行いたい。



市西部の積雪の様子。市内でも地域により積雪量に大きな差があった



## 新型コロナウイルス

# 市民に正しい情報を分かりやすく伝えよ



市民目線の会  
みずたに かずみ  
水谷 一未

**議員** 今年4月28日開催の厚生労働省厚生科学審議会において、新型コロナウイルスワクチン接種開始後の副反応疑いの報告数が26992件、死亡事例が2057件と報告された。本人が納得した上で接種するかどうか判断できるよう、厚生労働省から提供された本市での件数を市ホームページで公開すべきではないか。

**健康福祉部保健衛生担当部長** 副反応疑いの報告件数には因果関係が不明な事例等も含まれており、専門家による評価やその過程も重要である。市ホームページには引き続き厚生労働省ホームページのインターネットアドレスを掲載し、確かな情報を市民に提供する。

**議員** 市民の健康不安を取り除くため、スムーズに相談できる体制をつくるのが大切である。本市ではせっかく24時間体制の相談窓口を案内しているのに、相談先が分かりにくい。市民が新型コロナウイルス感染症の後遺症やワクチン接種後の副反応、今後のワクチン接種について相談しやすくなるよう、市ホームページを

より分かりやすく改善してはどうか。

**健康福祉部保健衛生担当部長** 本市のホームページ上では、後遺症は新型コロナウイルス感染症のページに、ワクチン接種後の副反応については新型コロナワクチンのページに分けて掲示している。今後、相談を求める市民が適切な相談先や医療機関につながるよう、分かりやすい情報提供に努めたい。



市ホームページに相談先を掲載したページを新設。トップページ「注目情報」からクリックして該当ページへ





## 自転車

# ヘルメット着用を啓発し自転車利用者の安全を守れ



新風創志会  
ひらの たかゆき  
平野 貴之

**議員** 令和5年4月からヘルメット着用が努力義務化された。大人が率先してヘルメットを着用し、着用が当たり前という社会の風潮を高めるため、親子でヘルメットを着用するための啓発や機会の創出が必要ではないか。また、高校はもちろん、自転車で通勤する社会人への啓発として企業を通じた呼び掛けも効果的と考えるがどうか。

**都市整備部建設担当部長** 学校を通じて交通安全指導資料を配布するなど、保護者も含めた交通安全意識の向上に努めている。今後も、このような取り組みのほか、高校や企業にも積極的に交通安全教室の開催を促し、ヘルメット着用の重要性を指導するなど、あらゆる機会や媒体

を活用してヘルメット着用人口を増やしたい。

**議員** 特に若い世代は、髪が乱れるため、ヘルメットを着用しない傾向にある。ヘルメットの内側に入れるだけで髪が乱れにくくなるグッズを紹介するなどして、着用への抵抗感をなくし、若い世代の着用率向上につなげてはどうか。

**都市整備部建設担当部長** 交通安全教室では、命を守るためヘルメットを正しく着用するよう指導している。今後、交通安全教室などの機会を通じて、髪型が乱れにくくなるグッズなどを活用し、着用率向上につなげていきたい。

**議員** 自転車は社会に多くの好影響を及ぼす移動手段である。市民が安全に利用できる環境を効果的に整備してほしい。



## 健康づくり

# 持続的なボランティア活動に向けた支援を



無所属  
いまむら あつみ  
今村 厚美

**議員** 国の資料では、社会参加に取り組む高齢者の多くは生きがいを感じている。高齢者の社会参加のうち、最も多いのが健康に関する活動であり、市内で「ステキ健康サポーター」「ヘルスリーダー」「食生活改善推進員」が健康ボランティアとして活発に活動してもらっている。また、それぞれの団体は健康づくりや介護予防の教室を開催し、市民の健康づくりや地域づくりを支えている。ボランティアからは、活動にやりがいを感じるとの声がある一方、自身も高齢になり今後の活動に対する不安の声もある。ボランティアが地域で継続して活動できるよう、市はどのような支援を行っているのか。

**健康福祉部長** 健康づくりを支援する仲間とし

て、健康ボランティアの養成に努めてきた。ボランティアの活動は市民の健康づくりや健康習慣の定着化に大きく貢献していると認識している。また、活動を通じてボランティア自身の健康づくりや生きがいにもつながっていると考える。市は、ボランティアに対して技術、知識の向上を目的とする教室や他団体との合同研修会の開催、理学療法士などの専門職員による相談、助言のほか、介護予防と健康づくりに資する情報を積極的に発信し、引き続き活動を支援する。

**議員** 市民の健康づくりや介護予防は多くのボランティアによって支えられている。ボランティア活動が持続的なものになるよう人材の育成についても取り組んでほしい。



## 公共交通

# 公共交通維持のためデマンド型交通を拡充せよ



市民目線の会  
たなか とおる  
田中 徹

**議員** 地方のバス路線は人口減少と高齢化の影響により利用者が減り、存続の危機に立たされている。公共交通機関を維持するために行政が補助しても、人口減少により運賃収入は増えず、補助を上乗せすることを繰り返すだけで、根本的な解決にならない。他市ではデマンド型交通をより積極的に導入している。本市でも、利用者からの予約を受けて運行するデマンドタクシーを市街化調整区域で導入しているが、デマンド型交通を今後どのように進めるのか。

**都市整備部長** 本市は今年2月に四日市市地域公共交通計画を策定した。この計画では、公共交通不便地域の住民の移動手段を確保することや、福祉輸送などの地域にある輸送資源の活用

方法を検討することを位置付け、関係者と連携して取り組むこととしている。今後はデマンド型の乗り合いサービスなどさまざまな形態の中から、地域の実情に合う手段を選択し、実験的な取り組みを行う予定である。なお、取り組みに当たっては、地域や関係者から意見を聞き、地域ごとの移動の特性に対応したものとなるよう検討する。

**議員** 菰野町は4年連続で国の事業に採択されて実証実験を進めている。本市も国の新事業に積極的に応募してさまざまなデマンド型交通の手段を検証し、四日市モデルと呼べるデマンド型交通の仕組みを市民と協働してつくり上げてほしい。



中心市街地活性化

大学設置を核として魅力あるまちづくりを



市民目線の会  
小林 博次



**議員** JR四日市駅西側に設置予定の大学を核として中心市街地活性化を行うべきと考えるが、基本構想の策定の進捗はどうか。また、国は成長分野をけん引する大学の再編についてどのくらいの期間でどの程度の再編を考えているのか。

**政策推進部長** 大学で育成する人材像、教育・研究分野等の基本構想を今年度中に策定する予定で、理系を中心に検討している。国は、デジタル、グリーン等の成長分野への学部再編に対し令和14年度までに250件程度支援するとしており、国の支援を受けられるよう取り組む。

**議員** 最先端の技術が学べる大学を誘致するだけでなく、学生のアルバイト先や就職先として、周辺にデジタル関連企業を誘致することにも注

力すべきと考えるがどうか。

**政策推進部長** 企業誘致を進めることで学生のアルバイト先や就職先になることに加え、まちの活性化や産学連携によるイノベーション(※)の創出など、都市としての魅力向上にもつながると考える。大学設置の効果を最大限に生かすため必要な施策についても検討していく。

**議員** 中心市街地から港エリアをつなぐ自由通路の駅西側の横断位置がJR四日市駅舎の中央を通るとすると、大学の設置予定位置と重なるが、どうするのか。

**都市整備部長** 駅西側の設置位置は現時点で具体的に決まっていないが、大学を核とした拠点施設の計画と十分に調整を図っていく。

※ 新たな考え方や技術を取り入れて新しい価値を生み出し、社会に大きな変革をもたらすこと

学校給食

生徒に安全・安心な給食を



日本共産党  
おおた のりこ  
太田 紀子



**議員** 新設された学校給食センターにアレルギー食専用の調理室が整備されたことで、一人でも多くの食物アレルギーを持つ生徒がみんなと同じ給食の時間を共有できるものと期待している。代替食(※1)の提供も含め、生徒に応じてきめ細かく対応している自治体もあるが、本市はどのような対応をしているのか。

**副教育長** 中学校給食のアレルギー対応は、小学校と同様、学校と保護者が連携し、安全安心な学校生活を送れるよう慎重に行っている。対象の生徒には、食物アレルギーの原因となる特定原材料8品目(※2)を除去した食物アレルギー対応の給食を調理し、提供している。それ以外の食物アレルギーがある生徒には、配食の

際、原因となるアレルギーを含む料理を盛り付けない対応をしている。現時点で代替食を提供する予定はないが、他市の対応状況などを注視していきたい。

**議員** 食材のほか、食物アレルギー対応の給食を対象の生徒に提供するまでの体制も重要である。中学校給食ではどのような体制でチェックしているのか。

**副教育長** 誤って食物アレルギーの原因となる食品を食べることがないように、献立の確認から配膳まで、教職員と学級の生徒を含めた学校全体で情報を共有し、組織的に取り組んでいる。

**議員** 生徒が安全・安心に喫食できるよう現場の声に耳を傾け、必要な支援を望む。

※1 アレルギーの原因となる食材を他の食材に代えた食事  
※2 卵、乳、小麦、エビ、カニ、そば、ピーナッツ、くるみの8品目

学校給食

子育て支援策として学校給食費の無償化を



日本共産党  
むらかみ あきら  
村上 暁



**議員** 学校給食費の無償化は、子ども1人当たり9年間という長い期間恩恵を受けられる、子育て支援の基本とすべき施策と考える。国による無償化の実施を待たず、独自に無償化を実施する自治体が増えているが、本市も無償化を実施すべきではないか。

**副教育長** 今年度は保護者負担の食材料費約14億円のうち、物価高騰分として約1億円を公費負担とした。学校給食費を恒久的に無償化する場合、毎年継続して多額の費用を要することから、意義、効果や実施期間などの慎重な判断が必要と考える。保護者の負担を増やさないう、どんな政策が効果的か市全体の子育て支援策と併せて総合的に検討する必要がある。

**議員** 自治体の財政力の大きさを示す財政力指数は、中規模以上の105都市のうち令和3年度は第2位、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は第1位で、本市は良好な財政状況にある。苦しい財政状況の自治体でもやりくりして無償化を実施する中、本市ができない理由は見当たらない。無償化を検討すべきではないか。

**財政経営部長** 無償化には毎年14億円もの公費が必要となる。現在の財政指標だけで判断せず、将来世代に過大な負担を先送りしないよう、中長期的な視点で将来の財政負担を注視していく。

**議員** 現在の子育て世代を支えることも大切である。義務教育は無償という憲法の理念を尊重し、今後も市民と共に無償化を強く求めていく。



まちづくり

住民の意見を聞いた最適な街路樹管理を



公明党  
山口 智也



**議員** 住民が高齢化し、街路樹の剪定や落ち葉の清掃が負担になっていると聞くと、市はどのような管理をしているか。

**都市整備部建設担当部長** 樹木の種類や成長具合に応じ、定期的な剪定作業を行っており、併せて街路樹の除草と落葉清掃を実施している。

**議員** 既存の街路樹から落葉が少ない樹種や生育の遅い樹種に植え替える樹種転換は、住民の清掃の負担が減ることに加え、市の剪定費用も軽減できるため有効である。市は過去に実施していた樹種転換事業を再開してはどうか。

**都市整備部建設担当部長** 撤去した街路樹の移植先がないなどの理由から、大規模な樹種転換を中止しているが、近年でも小規模な樹種転換

は行っている。街路樹の巨木化や老朽化により、道路の見通しを阻害するなど、市民からさまざまな意見もあり、今後、樹種転換を見据えた街路樹の在り方を検討していく必要があると考えている。

**議員** 街路樹を地域のシンボルだと感じて樹種転換を望まない住民もおり、樹種転換に対する住民の賛否が分かれることもある。住民の意見を丁寧に聞き取り、樹種転換や剪定頻度の検討など抜本的な対策をすべきと考えるがどうか。

**都市整備部建設担当部長** 街路樹の在り方の検討に必要な地域の意向調査などには、時間を要することから、剪定頻度の見直しを行うなど、適切な維持管理ができるよう努める。

奨学金

奨学金制度を充実し、若者に選ばれる四日市に



公明党  
森 智子



**議員** 本市では今年度から独自の奨学金制度を創設した。奨学金の半額は返還不要で、残りの半額も基準日に市内に在住していれば返還が免除となる。ただ、返還の負担に悩む人が多い中、市ではそれ以外の奨学金の返還支援を行っていない。名古屋市で就職する人にも住む場所として本市を選んでもらえるよう、さらなる返還支援で本市の魅力向上を図ってはどうか。

**政策推進部長** 県の奨学金返還支援事業では、県内に本社がある企業に勤務する人のみが対象となる。働く場、住む場としての本市の魅力を向上させる取り組みが重要と考えており、奨学金返還支援制度を含めた若者の定住支援策について調査研究を行いたい。

**議員** 令和3年度から従業員の奨学金を企業が代理返還できるようになった。従業員、企業共に利点があるが、市内で活用されているのか。また、宇都宮市では企業が従業員に奨学金の返還支援金を支給すると、同額を従業員に補助している。本市も同様の支援を行ってはどうか。

**商工農水部長** 代理返還制度を利用する市内企業は1社で、制度利用者数は公表されていない。人材確保は中小企業の重要な経営課題であり、雇用確保のための奨学金返還支援制度については、代理返還制度の周知も含め先進事例や事業者のニーズを調査した上で、研究したい。

**議員** 返還支援の取り組みが若者への応援メッセージとなり、本市を選んでもらえると考えている。

農業

今こそ農業の未来に向けて本気で取り組み



政友クラブ  
上 麻理



**議員** 農業の未来に向けて本格的に取り組まなければ、食料自給率の低下だけでなく、農地の減少により水害や環境破壊を招く恐れがある。命の産業である第1次産業の発展は本市にとって大きな意味があると考えている。各地区では関係者が協議して人・農地プランの実質化(※1)が図られたが、明らかになった課題の解決に向けてどのように取り組むのか。

**商工農水部長** 多くの地区では、区画の小さい農地、担い手の不足、獣害の増加などが課題となっている。関係機関と連携した取り組みや、国・市の補助事業による支援と並行し、人・農地プランをさらに具体化した地域計画の策定に向けて、集落ごとに話し合いを進めていく。

**議員** 新たな担い手を呼び込むための「もうかる農業」には、農地の集約化による経費の削減が重要である。集約化のための国の補助事業は複雑で分かりにくいのが、どのように対応しているのか。また、国は集約化の流れに逆行して五反要件(※2)を緩和した。集約化の妨げにならないよう市はどのように対応しているのか。

**商工農水部長** 国の補助事業について相談があった際は、適切な支援に向けて県と連携した対応に努めるとともに、市が気軽に相談できる窓口の役割を担っていることを周知していく。また、五反要件の見直しによる農地の取得については、効率的かつ総合的な利用の確保に支障が出ないよう農業委員会で適正に審査する。

※1 地域の農業について、アンケート等を活用しながら関係者で話し合い、農地の集約化等に関する将来方針を再構築すること  
 ※2 農地の所有権移転等の際、譲り受ける人に一定の農業経営面積の保有を必要とする要件

終活支援

本市の終活支援事業の進捗状況を問う



公明党  
あらき みゆき  
荒木 美幸

**議員** 身寄りのない市民が、生前から自分の望む葬送の形を決め、安心感を得ることは葬送における自己実現といえる。これを実現するのが終活支援事業であり、先進自治体では生前に市民、事業者、市の三者が連携する仕組みをつくり身寄りのない市民の命の尊厳を守っている。取り組みには人員や予算等の課題があるが、市はこれまでも終活支援事業について検討すると答弁している。その後の進捗状況はどうか。

**健康福祉部長** 行政が取り組む必要がある事業と認識しており、市民が希望する最期を迎えられるよう、どのような終活支援事業ができるか研究、検討を進めている。行政がすべきことを整理して、関係部局と連携し、事業に必要な人員を確保した上で取り組む。

**議員** 合葬墓（※）について、当初の計画を見直し、規模や運営方法等を慎重に検討することは理解するが、多死社会を見据え時間は長くかけられない。今後どのように計画を進めるのか。

**環境部長** 合葬墓は終活支援の最後の部分と認

※ 他の多くの人の遺骨と一緒に埋葬する形式の墓のこと

識している。終活支援事業全体の中で、民間墓地の経営に影響を与えないという前提の下、整備方針を今年度中に庁内で検討する。

**議員** 多死社会の到来に向け、終活支援は市民の命の尊厳を守るため早急に取り組むべき事業だと考えるが、どの部局が事業を主導するのか。

**渡辺副市長** 環境部と健康福祉部を中心に、役割分担を踏まえ、実行に移したい。



市民の命の尊厳を守る終活支援事業の取り組みが求められる



四日市港

四日市港管理組合での本市の発言力を高めよ



政友クラブ  
もり やすのり  
森 康哲

**議員** 四日市港はスーパー中枢港湾に指定されており、中部圏の代表的な国際貿易港として重要な役割を担っている。昨年度の議長選における所信表明において、四日市港管理組合（以下、管理組合）への負担金の負担割合を県と市で5対5にすべきと提案した。港がある本市の役割はますます重要となっており、負担割合を県と同じにすることで、本市の発言力を高めることができると思うがどうか。

**政策推進部長** 昭和41年の管理組合の設立以降、負担割合は何度か見直され、平成16年度にスーパー中枢港湾に指定された際、一層の広域性や戦略性を求めるには県の負担を増やすべきとして、平成18年度から5対4となっている。昨年8月定例会議会決算常任委員会でも負担割合の見直しが議論され、本市の影響力を高めるため引き上げるべきとの意見があった一方、財政負担に見合う利点があるのか疑問との意見もあった。四日市港は本市の重要な産業基盤であり、市民に親しまれる港づくりに向け、本市の意向

がより反映されるよう取り組んでいる。四日市みなとまちづくりプランの実現に向けて県や管理組合にハード整備の強化を要望した結果、予算が確保できており、本市の意向が反映されているため、負担割合の変更は必要ないと思う。

**議員** 四日市港のにぎわいづくりを進めるため、中部国際空港への海上アクセスを復活させることも視野に入れ、見直しを検討してほしい。



以前就航していた中部国際空港への海上アクセス





## 公共交通

# さまざまな取り組みで地域の移動手段を確保せよ



政友クラブ  
さい づよ  
井 綱 予

**議員** 多くの市民が一番困っていることとして、移動手段の確保がある。四日市市都市総合交通戦略では「鉄道網や幹線バスと支線バスとが連携した、誰もが移動しやすい交通ネットワークの実現に向けて路線の再編に取り組む」としているが、主要駅や郊外部におけるコミュニティターミナル(※)整備の検討状況はどうか。また、「生活圏内の移動特性に応じた交通手段の確保」について、考え方を確認したい。

**都市整備部長** 令和2年にまず「イオンタウン四日市泊」の敷地内にコミュニティターミナルを整備した。現在、商業施設のほか、生活利便施設を備えた住宅団地なども候補として適地の検討を進めている。生活圏内の移動特性に応じ

※ 商業施設、公共施設、駅など地域の拠点に鉄道やバス等の乗り換え機能を併設した、交流と交通の複合拠点

た交通手段の確保では、バスの支線化やコミュニティバス導入のほか、市街化調整区域の公共交通不便地域で予約に応じて運行するデマンドタクシーを運行している。今後は、市街化区域の不便地域においても、支線バスやデマンド型交通などさまざまな移動手段を探っていきたい。

**議員** 岐阜市ではバス停付近のコンビニ店内で快適にバスを待つことができる「バスまちば」を運用している。本市でも導入してはどうか。

**都市整備部長** バス路線の維持のため、乗り継ぎ環境やバス待ち環境の向上に取り組んでいる。今後民間施設を利用した「バスまちば」も視野に入れ、引き続き利用環境の向上に取り組む。

**議員** 市民に身近な施設をぜひ活用してほしい。



## まちづくり

# 湯の山線新駅の建設と現図書館のリニューアルを



政友クラブ  
いとう つとむ  
伊藤 嗣也

**議員** 鉄道路線の廃止協議の対象基準の緩和で、近鉄湯の山線が廃止されないか憂慮している。鉄道利用者を増やすため、市立四日市病院(以下、病院)の南東に新駅の建設を提案する。患者やその家族の移動の負担が軽減される上、建物構造等を工夫すれば安価に整備できる。発想を転換し、公共交通を守るべきではないか。

**都市整備部長** 整備費用や施設の維持管理などの継続的なコストを考えると、新駅の設置は難しいが、提案の内容については改めて確認する。  
**病院事業副管理者** 病院への交通手段の選択肢が増え、来院者や職員の利便性は高まる。自動車を使用せざるを得ない人のことも考慮の上、新駅の設置の波及効果を検証する必要がある。

※ 歩行者を中心にデザインされた、歩きやすい街のこと

**議員** 産業都市四日市の将来を担う子どもたちが、科学や産業の素晴らしさを体験する場が必要である。新図書館整備後、現図書館を子どもたちが科学や産業についても学べる場にリニューアルすべきと考えるがどうか。

**政策推進部長** 現図書館に図書館以外の機能を加えることは耐用年数から難しい。科学や産業技術の魅力伝える効果的な手法を検討したい。

**副教育長** 産業都市である本市の特徴を生かし、地域への愛着を育むとともに、科学や産業技術に興味を持つ機会を創出できるよう努める。

**議員** 新駅を中心に病院や図書館、文化会館を歩いて回れる、医療と文化のウォークアブルシティ(※)を実現すべきである。



## 図書館

# 費用対効果の観点で新図書館建設の可否を判断せよ



政友クラブ  
おき す  
荻須 智之

**議員** 本市の図書館では1人10冊まで本を借りられる。家族の分も合わせて借りる人もおり、新図書館にも車で来館することが予想される。周辺の駐車場の受け入れ台数は十分なのか。

**政策推進部長** 駐車場については、休日のピーク時の必要台数216台に対し、くすの木パーキングと新図書館から200m圏内、徒歩3分の既存の駐車場を活用する計画である。ただ、民間駐車場を継続的に使用できる確証がないことから、都市計画で決定され継続利用できる諏訪公園駐車場を改修して利用促進を行う。多くの本を借りる人へは、新図書館との役割分担で継続利用する現図書館での貸し出しを考えていく。

**議員** 今後ますます需要がなくなる紙の書籍の

ための施設に建設費、定期借地に係る地代、駐車場代など莫大(ばくだい)な費用がかかる可能性がある。総額が分かった時点で建設を中止できるのか。

**館副市長** 相当な時間をかけ、場所や機能などさまざまな議論を重ねてきた。また、地権者と覚書を交わし、調査費等の予算も議会に認めてもらっており、引き続き協議を進めていく。

**関連質問(川村幸康議員)** 議会は市長に建設を白紙委任していない。今後建設費が適正でないと分かれば、議会が中止の判断をすることもあり得るが、中止は可能か。

**政策推進部長** 予算議案が議会に認められなければ計画を中止せざるを得ないため、議会の理解を得られるように説明していく。



## 人事 非正規職員の割合を下げ、正規職員を増やせ



政友クラブ  
もりかわ まこと  
森川 慎



**議員** 市職員が正規から非正規に置き換えられている現状は、業務の継続性や安定性の点で疑問を感じる。非正規職員には女性が多く、男女格差や官製ワーキングプア（※）など、女性が雇用の調整弁のように利用される問題にもつながる。本市における非正規職員の割合はどの程度か。また、非正規職員が多い職場はどこか。

**総務部長** 全職員のうち非正規職員の割合は36.9%であり、保育園、幼稚園、こども園、清掃事業所などの職場でその割合が高い。

**議員** 人員の確保が難しいといわれる保育士などの職種も、不安定で低賃金の非正規職員に置き換えられている現状は疑問である。正規職員として長期的にスキルアップしてもらうことも

大切である。市はどのような方針で職員を採用しているのか。また、正規職員の数は業務量や住民サービスの質から考えて充足しているのか。

**総務部長** 最小の経費で最大の効果を上げるのが自治体の責務と考えている。限られた人件費の中で、正規職員が担うべき業務を整理し、効率的に市民サービスを提供している。必要な人員は各部局へのヒアリング等から算定した職員配置計画を基に計画的な採用、配置を行っている。他市との比較において、不足している現状にはなく、今後も適正な職員配置に努める。

**議員** 災害などへの対応、男女格差の解消、住民サービスの質の確保などの視点からも、正規職員を増やすべきである。

※ 収入や待遇などの面で不遇な状況にある、公的機関で働く非正規労働者のこと

## 6月定例会月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。



◆詳しくはホームページへ→

- ◆**動産の取得 ー地震体験車 1台ー** 12件
  - ・自治会での防災訓練等で、幅広い世代が災害時の対応を学ぶ機会になれば良いと考える。
  - ・購入費用が高額である。また、十分に活用されるのか疑問である。
- ◆**民間保育所等整備事業費** 7件
  - ・待機児童解消のため、良い取り組みである。
  - ・民間保育所・認定こども園側の園児の受け入れ体制は整っているか。

- ◆**商店街街路灯電灯料補助金** 3件
  - ・商店街も節電を進めるべきではないか。
- ◆**橋梁メンテナンス補助事業費、橋梁整備単独事業費** 3件
  - ・市民が毎日使用する橋が壊れれば大きな事故につながるので、一日でも早く修繕してほしい。

8月定例会月議会については、8月22日（火）に市議会ホームページ（<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>）に議案および議案資料を掲載し、8月28日（月）午後5時までご意見を募集する予定です。皆さんからのご意見をお待ちしています。

## 定例会月議会の報告と意見交換を行いました ～2月定例会月議会 議会報告会～

今回は、3月29日、30日に4常任委員会ごとに議会報告会を開催しました。いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆会場での主な内容を要約してご紹介します。詳しくはホームページへ→



### 総務常任委員会（川島地区市民センター）

**問** 災害時におけるドローンの活用は検討しているのか。

**答** 消防本部では、火災現場の状況把握等のためドローンを配備している。今後は災害時の救助活動への活用も検討していく必要があると考える。

### 産業生活常任委員会（橋北交流会館）

**問** 市立四日市病院の大規模改修により、地域連携・医療相談センター（サルビア）のスペースは広がるのか。

**答** 大規模改修でスペースを拡大し、新設する入院支援部門とも連携を図る予定である。

### 教育民生常任委員会（河原田地区市民センター）

**問** 不登校の児童生徒に、体験型の教育を行ってはどうか。

**答** 本市は地域の人材を活用した教育を進めており、材料費などの費用の一部を支援していく方向性を担当部局から確認している。

### 都市・環境常任委員会（神前地区市民センター）

**問** 三滝川に架かる橋梁の配置が悪く、周辺で渋滞が発生しやすい。道路整備の計画を十分に議論してほしい。

**答** 三滝川や周辺の道路は県の所管であるため、市民の声をしっかりと県に伝えていきたい。



**8月定例月議会の予定** (日程は都合により変更する場合があります)

月	日	内 容	開始時刻	
8	29(火)	本会議 初日(議案説明 ほか)	午前10時  午後1時	
	31(木)	本会議(質疑・委員会付託 ほか) 各常任委員会/予算、決算各分科会		
9	1(金)、 4(月)~5(火)	各常任委員会/予算、決算各分科会 *予備日6(水)		
	11(月)~13(水)	決算常任委員会全体会 *予備日は14(木)		
	15(金)	予算常任委員会全体会 *予備日は19(火)		
	22(金)	本会議(委員長報告・採決 ほか)		
	26(火)~29(金)	本会議(一般質問)		
10	2(月)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託 ほか)		午前10時
	3(火)	各常任委員会/予算各分科会		
	4(水)	予算常任委員会全体会		午後1時
	5(木)	本会議 最終日(委員長報告・採決 ほか)		

※一般質問の様様をCTY122ch (サブチャンネル) で放送する予定です。  
 ※本会議と常任委員会の様様は市議会のホームページで生中継し、録画中継もご覧いただけます。  
 ※委員会は審査の進み具合により、予定より早く終了する場合があります。

**市議会モニター委嘱式を開催**

令和5年度の市議会モニター(51人)への委嘱式を5月24日に行いました。

市議会モニターの皆さんには、市議会の運営に関する意見、提言などをお願いしています。



**8月定例月議会の議会報告会 (予定)**

8月定例月議会の議会報告会を10月16日、17日に開催します(詳細は下記参照)。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※当日の天候や感染症の状況により、中止や開催方法の変更をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 ※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせします。

**第1部：議会報告会 第2部：シティ・ミーティング (意見交換会)**

日 時	10月16日(月) 18:30~20:45		10月17日(火) 18:30~20:45	
常任委員会	教育民生	産業生活	総 務	都市・環境
会 場	内部地区市民センター 本館1階会議室	下野地区市民センター 2階大会議室	あさけプラザ 3階美術室	常磐地区市民センター 2階大会議室
	采女町857-1	朝明町914-3	下之宮町296-1	城西町8-11
所 管 事 項	教育、こども、 健康福祉など	商工業、農林水産業、 市民生活、文化、スポーツ、 シティプロモーション、 市立病院など	市政の企画、財務、 危機管理、消防など	道路、住宅、上下水道、 環境衛生など

※会場でのやりとりを基本としてご意見をいただきます。 ※手話通訳いたします(事前予約は不要です)。  
 ※状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性があります。  
 ※開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めとさせていただきます。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせいたします。

**あとがき**

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

**広報広聴委員会** 【○委員長 ○副委員長】  
 ○樋口 龍馬 ○谷口 周司 伊世 利子  
 上 麻理 田中 徹 辻 裕登  
 村上 暁 森 智子

**ご意見・ご感想などのあて先**

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号 四日市市議会事務局  
 Tel059-354-8340 Fax059-354-8304

**Eメールアドレス** shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

**ホームページ** [四日市市議会](#)

発行/四日市市議会 編集/広報広聴委員会